



「君は、僕と結婚して、幸せでしたか？」

戦時中に生まれて十分な教育を受けることができず、文字の読み書きができない65歳の西畑保と、いつも彼のそばにいる最愛の妻・餃子。

貧しい家に生まれ、ほとんど学校に通えないまま大人になった保は、生きづらい日々を過ごしてきた。

やがて餃子と運命的な出会いを果たし結婚するが、その幸せを手放したくないばかりに、読み書きできないことを彼女に打ち明けられずにいた。

半年後、ついに事実が露見し別れを覚悟する保だったが、餃子は彼の手をとり告げる。

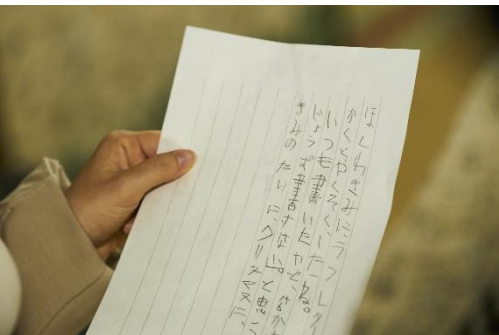
「今日から私があなたの手になる」

餃子のその言葉に、その眼差しに、保は救われた。

どんな時も寄り添い支えてくれた餃子へ感謝のラブレターを書きたい。

定年退職を機に保は一大決心し夜間中学に通い始める。担任の谷山恵先生のじっくりと粘り強い教えや年齢・国籍も異なる同級生たちと共に学ぶ日々で少しずつ文字を覚えていく保。

だが老齢のため物覚えも悪く、気付けば5年以上の月日が経過した頃、一字また一字と書いては消した書くひたむきな保と、それを見るときもなく見守る餃子は、結婚35年目を迎えていた……。



©2025「35年目のラブレター」製作委員会

35年目のラブレター

監督・脚本：塚本連平

出演：笑福亭鶴瓶 原田知世 重岡大毅 上白石萌音 徳永えり ぎい子
辻本祐樹 本多力 江口のりこ 瀬戸琴楓 白鳥晴都 くわばたりえ
笹野高史 安田顕